

平成 28 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 日本ライフライン株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木啓介
(コード番号 7575)
問合せ先 取締役管理本部長 山田健二
(TEL. 03-6711-5200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 5 月 2 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正
（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,425	百万円 1,692	百万円 1,765	百万円 1,118	円 銭 60.13
今回修正予想(B)	18,054	3,003	3,000	2,006	107.88
増減額(B-A)	1,629	1,311	1,234	888	
増減率(%)	9.9	77.5	69.9	79.4	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	13,959	1,315	1,291	1,386	70.72

平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正
（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 34,699	百万円 4,686	百万円 4,832	百万円 3,102	円 銭 166.78
今回修正予想(B)	37,991	6,866	6,935	4,604	247.50
増減額(B-A)	3,292	2,179	2,103	1,501	
増減率(%)	9.5	46.5	43.5	48.4	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	30,540	3,700	3,574	2,804	146.81

平成 29 年 3 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正
（平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 15,839	百万円 1,878	百万円 1,258	円 銭 67.63
今回修正予想(B)	17,467	3,136	2,087	112.21
増減額(B-A)	1,628	1,258	829	
増減率(%)	10.3	67.0	65.9	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	13,349	1,318	1,546	78.88

平成 29 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正
（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 33,316	百万円 4,884	百万円 3,271	円 銭 175.86
今回修正予想(B)	36,985	7,054	5,479	294.56
増減額(B-A)	3,669	2,170	2,208	
増減率(%)	11.0	44.4	67.5	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 3 月期)	29,248	3,585	2,219	116.17

当社は、平成 27 年 10 月 1 日を効力発生日として、普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を実施しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益金額を算定しております。

修正の理由

連結業績

連結業績予想につきましては、後述の個別業績予想の修正を踏まえ、当初の計画に対して売上高及び各段階利益における業績予想を上方修正するものであります。なお、個別業績における JUNKEN MEDICAL 社の合併に伴う特別利益につきましては、完全子会社の合併に伴うものであり、個別業績においてのみ生じることから、連結業績への影響はありません。

個別業績

販売面におきましては、EP/アブレーションにおいて、心房細動のアブレーション治療の症例数が当初の想定を上回り推移していることから、当社のオンリーワン製品をはじめとする心房細動治療の関連商品が伸長しており、この傾向が第 2 四半期以降も継続するものと見込んでおります。また、その他の品目区分の販売につきましても、新商品を中心として概ね堅調に推移することが見込まれることから、売上高は計画を上回る見通しとなりました。

利益面におきましては、自社製品が中心である EP/アブレーションの売上構成比が想定より高くなっていることから、売上総利益率が計画を上回り推移することを見込んでおります。また、販売

費及び一般管理費につきましては、第1四半期において治験等の薬事関連費用や自社製品の開発関連の費用の進捗が遅れておりますものの、第2四半期以降にはこれらの費用の発生が見込まれることに加え、平成29年1月1日付で予定している連結子会社であるJUNKEN MEDICAL社の合併に伴う関連費用等の増加を見込んでおります。

また、当該合併に伴う抱合せ株式消滅差益として7億6千万円の特別利益の計上を予定しております。

(注)上記の業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により業績予想と異なる可能性があります。

以 上